

検査ニュース



No.147

新年明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひいたします。
今回は、昨年春より導入した新しい検査「結核菌群 LAMP」についてご案内申し上げます。
日常診療に直結する結核検査を是非この機会に『身近な検査室』としてご利用ください。

佐賀県医師会成人病予防センター
担当理事 志田 正典

● 結核菌群 LAMP のご紹介

検査項目	検体	所要日数	実施料 判断料	検査方法	基準値	備考
結核菌群LAMP	喀痰 2.0(mℓ)	1~2	410 ※6	LAMP法	(-)	検査材料は 喀痰 のみです。 【保険収載】 結核菌群核酸検出(D023 6)

※6 微生物学的検査判断料

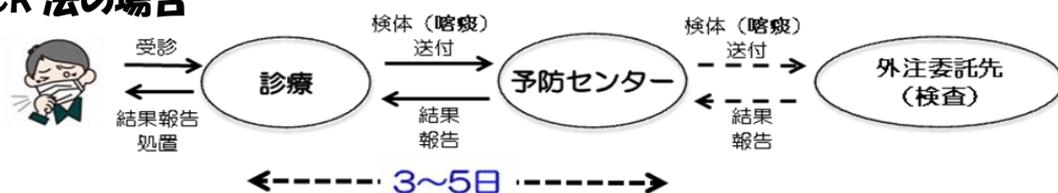
LAMP (Loop-mediated Isothermal **A**mplification) 法とは、ループ構造を利用して、一定温度で遺伝子を増幅する技術です。

- 【特長】
- ① 等温 (65℃付近) で遺伝子を増幅できる
 - ② 特異性が非常に高い
 - ③ 増幅効率が高い
 - ④ 増幅産物の量が非常に多い
 - ⑤ RNA からも 1 ステップ
 - ⑥ 阻害物質の影響を受けにくい

➡ 従来の遺伝子検査 PCR 法よりも簡便・迅速な検査が可能

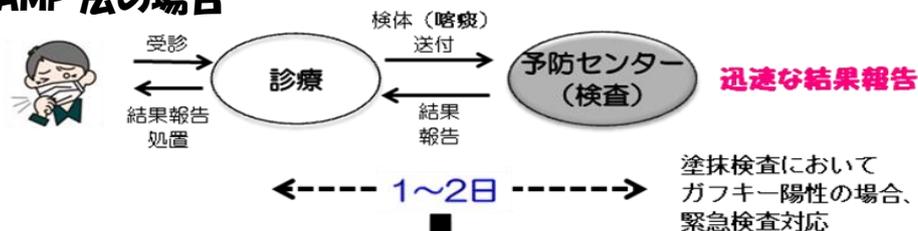
● LAMP 法による結核菌検査の迅速報告

PCR 法の場合



↓ TAT (turnaround time) の短縮

LAMP 法の場合



↓ 早期に治療を開始できる
迅速な院内感染対策

結核症の疑いのある患者に対して・・・

塗抹検査・培養検査・胸部 X 線等と併用して LAMP 法検査の実施をおすすめします。